

第25回  
緑化技術コンクール  
～ Innovative Green Tech Awards ～  
都市の緑3表彰

応募要綱

(2026年度)

主 催 公益財団法人都市緑化機構  
特別協賛 一般財団法人第一生命財団  
協 賛 住友林業株式会社

## 1 目的

都市緑地を質・量で確保し、良好な都市環境の形成を図るためには、多様な主体による緑地整備等の取組の推進が不可欠になっています。また、緑地確保による気候変動への適応、生物多様性確保、幸福度（well-being）の向上等の課題解決に向けて、より効果的かつ多角的な視点で緑化技術を開発し、技術の見える化と普及啓発が重要と言えます。

本コンクールは、地球温暖化対策、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、都市緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市緑化技術の新たなフェーズへの移行に寄与することを目的とします。

## 2 主催

公益財団法人 都市緑化機構

## 3 後援

国土交通省、環境省、東京都、株式会社日本経済新聞社、第一生命保険株式会社、公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会（予定）

## 4 特別協賛

一般財団法人第一生命財団

## 5 協賛

住友林業株式会社

## 6 協力

一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター（予定）

## 7 応募対象

(1) 次の部門別に施設及び製品・技術を募集します。

### ◎ 緑化施設部門

応募対象：良好な都市環境の形成や気候変動への適応、生物多様性確保、幸福度（well-being）の向上等の課題解決に資する緑化施設。

### ◎ 特定テーマ部門

「『GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)』を盛り上げる緑化技術」

応募対象：以下、いずれかの条件を満たす製品・技術とします。

- ① GREEN×EXPO 2027に出展（花・緑出展、Village出展）または協賛（展示や出展への協賛、施設協賛・運営協賛）する緑化技術
- ② 緑豊かな都市生活の実現に資する革新的で、造園・緑化を支える将来性のある製品・技術であり、募集締切までに、開発が終了し、日本国内におい

て自社名義で販売・提供を開始または予定している製品・技術

※応募様式等、提出後の応募者の追加、連名応募の場合の応募者名の順番等の変更は、いかなる理由があっても一切認めません。応募資料作成および提出にあたっては、応募者（所有者、設計者、施工者、資材・工法の開発者又は管理者のいずれか）間で必ず調整を行い、提出後の追加・変更が生じないように、留意してください。

(2) 緑化施設部門への応募は、第1回～24回までに受賞した作品の再応募も可とします。

## 8 応募資格

応募者は、施設及び製品・技術の所有者、設計者、施工者、資材・工法の開発者又は管理者のいずれかとなります。連名による応募も可能としますが、すべての連名者の了承を得てください（所有者以外の方が応募する場合も、事前に所有者の了承を得てください）。審査では、応募者名を公開するため、審査結果通知後に新たな応募者を受賞者名に加えることはできません。

緑化施設部門は、国外の作品も応募可能とします。ただし、作品の所有者、設計者、施工者のいずれかが、日系の企業であり、応募者に名を連ねていることとします。

特定テーマ部門は、国外の製品・技術も応募可能とします。ただし、応募製品・技術についての技術上・製造上の責任を負うことができるものとし、日系の企業が応募者に名を連ねているものとします。

※応募者が反社会的勢力ではないこと、又は反社会的勢力と関係を有していないこととします。

## 9 応募方法

- (1) 部門別に所定の様式に必要な事項を記入し、応募資料一式を郵送または持込により、下記「緑化技術コンクール」事務局にご提出ください。応募資料は、「緑化技術コンクール応募様式等作成要領」の仕様によるものとします。
- (2) 応募様式、及び「緑化技術コンクール応募様式等作成要領」は、(公財)都市緑化機構ホームページよりダウンロードするか、下記問い合わせ先まで、E-mailにてお問合せください。
- (3) 「緑化技術コンクール」事務局に提出された応募様式等は原則として返却しません。また、応募様式等は主催者が事業目的のために無償で任意に使用できるものとします。

## 10 応募資料の取り寄せ、提出および問い合わせ先

公益財団法人都市緑化機構「緑化技術コンクール」事務局  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階  
電話:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195 E-mail: [concours@urbangreen.or.jp](mailto:concours@urbangreen.or.jp)  
都市緑化機構ホームページ: <https://urbangreen.or.jp>

## 11 応募締切

2026年6月30日(火) 消印有効

## 12 審査のポイント

審査は審査委員会により下記内容をポイントとして審議し、表彰する作品を決定します。

### (1) 緑化施設部門

- ・緑化の目的と達成 : 緑化の目的が明確で、設定した目的の達成に向けて、効果的・効率的な技術が適用されているか。
- ・緑化の技術とデザイン : 竣工後も安定した植物生育が期待できるデザインや新技術、総合的にレベルの高い技術を検討し、導入されているか。
- ・サステナブルな維持管理、運営 : ランニングコストやライフサイクルコスト、省資源対策に積極的に取り組んでいるか。また、これらサステナブルな維持管理、運営により、成熟した緑化空間を形成しているか。
- ・社会・経済への革 : 豊かな都市生活の実現に向けて、周辺地域(社会・経済)、環境に

新たな取組

対して、緑化がどのような貢献をしているのか。

(2) 特定テーマ部門「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）を盛り上げる緑化技術」

- ・製品、技術の着眼点 : 社会や地域、環境の何を課題としてとらえ、本製品、技術により、それらをどのように解決しようとするのか。その考え方やアイデアが明確に示されているか。
- ・製品、技術の獨創性・革新性 : 既往の製品、技術と比較して、何ができるようになったのか（Before/After）。また、どのような価値があり、社会に適合しているのか。
- ・製品、技術の将来性 : 都市緑化の分野において、本製品、技術を活用することにより、どのような社会的ニーズに対応しようとするのか。
- ・製品、技術の整合性 : 本製品、技術のどの部分が、「GREEN×EXPO 2027」のテーマ、コンセプトに整合しているのか。もしくは、本製品、技術を活用することにより、どのように、「GREEN×EXPO 2027」のテーマやコンセプトに整合しようとしているのか。

### 1.3 審査委員

委員長

山田 宏之 大阪公立大学 農学部 教授

委員

飯島健太郎 東京都市大学 環境学部 環境創生学科 教授  
井上 洋 明治大学 国際日本学部 兼任講師  
岩崎 哲也 兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県立大学大学院 准教授  
大賀 亨 一般財団法人 日本建築センター 理事  
貝島 桃代 スイス連邦工科大学 チューリッヒ校建築振る舞い学 教授、アトリエ・ワン  
北奥 郁代 一般財団法人第一生命財団 常務理事  
小池 政則 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長・業務執行理事  
佐々木大輔 日経BP 日経クロステック建設編集長  
高山 研 環境省 大臣官房保健環境部 企画課 熱中症対策室 室長  
望月 一彦 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室長  
棚野 良明 公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(順不同、敬称省略)

2026年4月現在

### 1.4 審査結果発表

2026年10月上旬に、応募者に通知します。また、(公財)都市緑化機構ホームページ上でも公表します。

### 1.5 表彰

(1) 次の各賞を、応募作品の部門ごとに表彰いたします。

- 国土交通大臣賞 : 土木・建築計画、都市計画等の観点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
- 環境大臣賞 : 生物多様性、環境への配慮等の観点から、特に技術水準が高く、今後の環境緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
- 日本経済新聞社賞 : 緑化の効果により、経済・社会等に好影響を与えた緑化技術等に優れた作品、製品・技術。
- 都市緑化機構会長賞 : 技術面や緑化技術の普及啓発面での先駆的な取組み又は、特に類を見ない特色を有する優れた作品、製品・技術
- 2027年国際園芸博覧会協会特別賞 : GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）を盛り上げ、日本・横浜から造園・緑化技術を世界へ発信するとともに、革新性・将来性を有し、「GREEN×EXPO 2027」のテーマやコンセプトにあう製品・技術

賞／部門	緑化施設部門	特定テーマ部門
国土交通大臣賞	2点以内（賞状、副賞）	
環境大臣賞	2点以内（賞状、副賞）	
日本経済新聞社賞	2点以内（賞状）	
都市緑化機構会長賞	2点以内（賞状）	
2027年国際園芸博覧会協会特別賞	該当なし	1点以内（賞状）

(2) 次の方に賞状を授与します。

受賞代表者に賞状及び副賞を授与します。所有者、設計者、施工者、資材・工法の開発者など、連名による応募の場合は、賞状は連名で作成しますが、授与は1作品1枚です。

(3) 表彰式は、2026年11～12月に、東京都内を予定しています。

(4) 審査結果の報告は公益財団法人都市緑化機構の機関誌『都市緑化技術』に掲載します。

(5) 受賞作品の概要はホームページに掲載します。

(6) 特定テーマ部門にて受賞した製品・技術は、「2027年国際園芸博覧会」において、本受賞に関する内容を掲載することができます。

## 16 その他

(1) 本コンクールの第1～24回受賞作品は、(公財)都市緑化機構ホームページに掲載しております。

(公財)都市緑化機構のホームページ: <https://urbangreen.or.jp>

(2) 受賞者には、提出された応募様式等を基に表彰式会場等に展示する作品紹介パネル等、作成の協力をお願いする場合があります。

(3) 審査に関連して、現地の確認・ヒアリングを実施する場合があります。

(4) 応募様式の作成と事務局への問い合わせは日本語でお願いします。

(5) 主催者等が、応募に際して入手した情報については、応募内容に関する問い合わせ、結果通知等の事務連絡、当賞の広報活動、暴力団排除条例遵守のための確認、その他当賞に関する業務・運営管理に利用します。個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範に遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

## 17 造園 CPD（継続教育）プログラム

本コンクールは造園 CPD プログラム（260、265）に自己登録が可能です。申請に際しては、「造園 CPD 実施記録の自己登録ガイド（2023年4月、日本造園学会）」にて詳細をご確認ください。